

記入例

※ボールペン(消せないペン)で記入すること(エンピツ・フリクション等不可)

大学等への修学支援の措置に係る学修計画書

氏名 県大 太郎

総合管理 学部 総合管理 学科(専攻) 1年 学籍番号 (2 4 3 ●●●●)

(プレ)ゼミ・担任等の担当(指導)教員名を記入

担当(指導)教員名 (■■ ■■) 先生

1. 学修の目的(将来の展望を含む。)

現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものですか。次の(1)から(3)を参考にしつつ、その内容を記述してください。(200~400文字程度)

- (1) 将来就きたい職業(業種)があり、その職業(業種)に就くための知識の修得や資格を取得するため。
- (2) 興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるため。
- (3) 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。

.....

.....

.....

.....

.....

2. 学修の計画

前述の学修の目的の実現のために、今までに何をどのように学び、また、今後、何をどのように学びたいと考えているかを記述してください。(200~400文字程度)

.....

.....

.....

.....

.....

3. あなたは、卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか。次の項目の中から該当するものに✓を記入してください。

✓を入れる

- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。
- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志はない。

「卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。」を選択した場合、どのような姿勢で学びに取り組みようと考えているかを記述してください。(200~400 文字程度)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

適格認定判定結果の情報提供について記載がありますので必ず確認をしてください。

※ 適格認定（学業）判定結果による情報提供について

給付奨学生の学修状況や生活状況は、定期的に日本学生支援機構（以下、機構）へ報告します。学校から報告した学業成績等を機構で総合的に審査し、適格基準に基づき給付奨学金継続の可否等を判断します。この手続きを「適格認定（学業等）」といいます。この手続きを「継続」「警告」「停止」「廃止」の区分に応じて行われ、区分の結果によっては給付奨学金の支給が停止されたり、廃止となることがあります。

なお、履修状況を確認し状況改善につなげるため、「継続」以外の判定となった場合、教員へ判定結果を伝えることがあります。

以下は、学生は記入しないこと。



以下、教員記入欄 ※学生支援課から教員に依頼します。

総合判定結果

1. から 3. を総合的に考慮して、在学中の学修意欲等が認められるかを判定した結果、

- 在学中の学修意欲等があると認められる。
- 在学中の学修意欲等があるとは認められない。

(いずれかに✓を記入)

教員名 _____